

Aki Sasamoto's Life Laboratory

笹本晃 ラボラトリー

2026年7月19日[日]—11月3日[火・祝]

開館時間：10:00–17:00 金曜は20:00まで（入場は閉館の30分前まで）

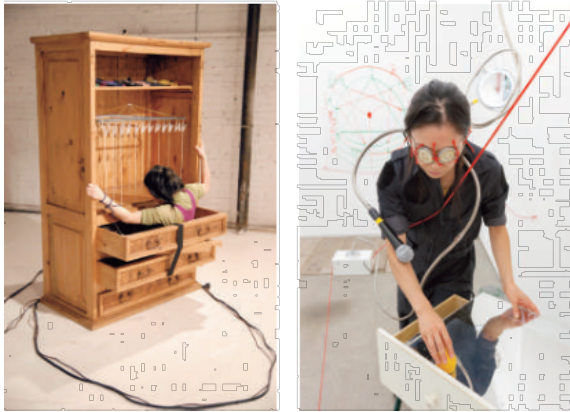
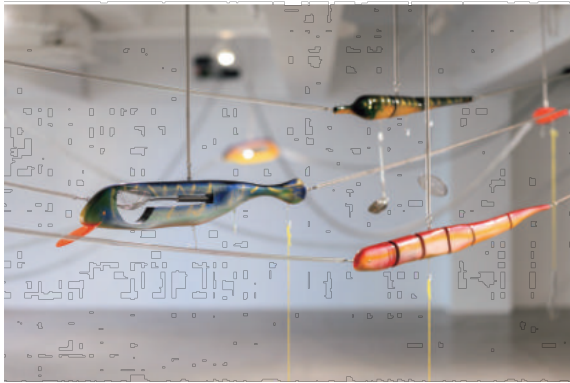
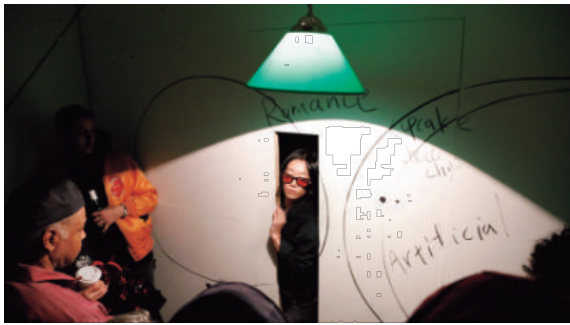
休館日：月曜日（ただし、7月20日、9月21日、10月12日、11月2日は開館）、7月21日、9月24日、10月13日

主催：国立国際美術館 | 協賛：公益財団法人ダイキン工業現代美術振興財団 | 特別協力：Take Ninagawa

企画担当：植松由佳（国立国際美術館学芸課長） | 企画・監修：岡村恵子（東京都現代美術館学芸員）



国立国際美術館
THE NATIONAL MUSEUM OF ART, OSAKA



1《Wrong Happy Hour [誤りハッピーアワー]》2014 [JTT (ニューヨーク)でのパフォーマンス風景] Photo by Ben Hagari
2《Sounding Lines [測深線]》(部分) 2024 [バラ・サイト(香港)での展示風景] Shane Akeroyd氏蔵 Photo by Studio Lights On. | 3《Secrets of My Mother's Child [母の娘の事実]》2009 [チョコレート・ファクトリー・シアター(ニューヨーク)でのパフォーマンス風景] Courtesy of The Kitchen, NY. Photo by Arturo Vidich. | 4《E_O》2011 [Take Ninagawa (東京)でのパフォーマンス風景, 2012] Photo by Kei Okano. | All images ©Aki Sasamoto. Courtesy of Take Ninagawa, Tokyo. [表面] 笹本晃 Aki Sasamoto ©Kazuo Fukunaga. Courtesy of Take Ninagawa, Tokyo.



【アクセス】●京阪電車中之島線「渡辺橋駅」(2番出口)から南西へ徒歩約5分 ●Osaka Metro四つ橋線「肥後橋駅」(3番出口)から西へ徒歩約10分 ●JR「大阪駅」、阪急「大阪梅田駅」から南西へ徒歩約20分 ●JR大阪環状線「福島駅」より南へ徒歩約15分 ●JR東西線「新福島駅」(2番出口)、阪神電車「福島駅」(3番出口)から南へ徒歩約10分 ●Osaka Metro御堂筋線「淀屋橋駅」、京阪電車「淀屋橋駅」(7番出口)から西へ徒歩約15分 ●大阪シティバス「大阪駅前」から、53号・75号系統で、「田養橋」下車、南西へ徒歩約3分(お帰りのJR大阪駅方面最寄バス停は「渡辺橋」になります) ※当館には専用駐車場はありません。ご来館は電車・バス等をご利用ください。 ※心身に障がいのある方で、車で来館される場合は、当館近隣の有料駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。



【お問い合わせ】TEL: 06-6447-4680(代) | www.nmao.go.jp/
〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55 | 4-2-55 Nakanoshima, Kita-ku, Osaka 530-0005

国立国際美術館(大阪)は、特別展「笹本晃 ラボラトリー」展を開催いたします。本展は、2025年に東京都現代美術館にて開催された展覧会を元に、当館コレクション作品を加えるなど内容を一部再構成するものです。笹本晃は、彫刻的な思考と身体表現とを行き来しながら制作を続けてきました。糸や管、日用品、音、言葉といった多様な要素を組み合わせて空間を組み立て、思考や感情が行き交う回路のようなインスタレーションを構築します。さらに、自らその空間に入り込み、語りや動作を交えたパフォーマンスを行うことで、作品は固定されたものではなく、時間とともに変化し続ける「出来事」として展開されます。あらかじめ完成された形を提示するのではなく、出来事が生まれる過程そのものを含めて提示する点に、笹本の大きな特徴があります。その関心は、個人的な記憶や日常の癖といった身近な領域から、近年では自然現象や生態系の観察へと広がっています。軽やかな語り口と複雑に構成された装置が重なり合うことで、作品はユーモアと緊張感を併せ持ちながら展開されます。空間に配置されたオブジェクトは単なる舞台装置ではなく、出来事を引き起こすための仕掛けとして機能し、即興的な展開を導きます。本展のタイトルである「ラボラトリー(実験室)」が示すように、笹本の実践は完成された結果を提示するのではなく、試行錯誤のプロセスそのものを観客と共有する点に特徴があります。鑑賞者は、作品を単に「見る」のではなく、空間の中を歩き、音や気配を感じながら、思考の流れに巻き込まれていきます。東京都現代美術館での展示内容を基盤としつつ、会場構成および当館が所蔵する作品も加えて出品作品の一部を変更し、国立国際美術館の空間特性に応じた新たな展示を試みます。

また、会期中に実施されるパフォーマンスについても、新たな作品内容で展開されます。展示空間を舞台に繰り広げられるパフォーマンスでは、言葉、身体、オブジェクトが複雑に絡み合い、その場限りの出来事が生成されます。これにより、来場者は訪れるたびに異なる体験に出会うことになります。本展は、固定された作品展示にとどまらず、状況や関係性の変化そのものを含めた「生きた展示」として、観る者の思考と感覚を揺さぶります。現代美術に馴染みのない方にとっても、身近な素材や語りを手がかりに、多様な解釈の入り口が開かれる機会となるでしょう。

観覧料 一般1,800円(1,600円)／大学生1,200円(1,100円)

- ()内は20名以上の団体料金および夜間割引料金(夜間割引対象時間:金曜17:00-20:00)
- 高校生以下・18歳未満無料(要証明) ●心身に障がいのある方とその付添者1名無料(要証明)
- 本料金で同時開催の「コレクション1」もご覧いただけます

同時開催「コレクション1」2026年7月19日[日]ー11月3日[火・祝]

【イベント情報】

笹本晃によるパフォーマンス ※要観覧券

- 1 《E_O》
7/19 [日] 14:00ー、10/30 [金] 17:30ー、11/1 [日] 14:00ー
- 2 《Yield Point [降伏点]》
7/19 [日]、7/26 [日]、10/31 [土] いずれも17:30ー
- 3 《Wrong Happy Hour [誤りハッピーアワー]》
7/20 [月・祝]、7/26 [日]、10/30 [金]、10/31 [土] いずれも14:00ー
- 4 《Secrets of My Mother's Child [母の娘の事実]》
7/20 [月・祝]、7/25 [土]、11/1 [日] いずれも17:30ー

会場: 当館B3階展示室 | 1, 3: 定員30名 / 2, 4: 定員50名

14:00からの回は当日10:00から、17:30からの回は当日13:00から整理券を配布します

アーティスト・トーク ※要観覧券

7/25 [土] 14:00-15:30 | 会場: 当館B1階講堂 | 先着100名

ギャラリー・トーク ※要観覧券

10/3 [土] 14:00ー | 講師: 植松由佳(当館学芸課長) | 会場: 当館B3階展示室 | 先着60名

※詳細については当館ウェブサイトなどでご確認ください。

笹本晃 [ささと・あき]

1980年神奈川県生まれ。10代で単身渡英。その後アメリカに移り、ウェズリアン大学でダンスや美術を学ぶ。2007年にコロンビア大学大学院(ニューヨーク)より芸術学修士号取得。現在はイェール大学芸術大学院彫刻専攻で教鞭を取り、専攻長を務める。主な個展に、スカルプチャー・センター(ニューヨーク、2016年)、クイーンズ美術館(ニューヨーク、2023-2024年)、バラ・サイト(香港、2024年)、スタジオ・ヴォルテール(ロンドン、2026年)がある。横浜トリエンナーレ(2008年)、ホイットニー・ビエンナーレ(2010年)、光州ビエンナーレ(2012年)、コチ=ムジリス・ビエンナーレ(2016年)、国際芸術祭あいち(2022年)、ヴェネチア・ビエンナーレ(2022年)など多数の国際展に出品。2023年、アレクサンダー・カルダーの才能を継ぐ革新的な彫刻作家に贈られるカルダー賞を受賞。